

申し入れ書

N E C は9月28日、「インターネット時代に対応した経営改革」を発表し、その中で、4項目の具体的な経営施策を提示しました。ところが、この間のN E C創業以来最大の不祥事である防衛庁背任事件の反省や米国P B-N E Cへの数千億円と言われる巨額融資の失敗などに対する経営責任については、なんら言及していません。「経営改革」というのなら、これらの不祥事や経営ミスの反省と責任の明確化がその出発点になるべきです。

にもかかわらず、業績悪化のツケを「課題事業の再編」の名のもとにN E Cグループ全体の労働者に転嫁し、人減らし「合理化」を強行するやり方は絶対に容認できません。

また、会社は「創業以来の危機」といい、「本社売却」の発表など「経営危機」宣伝を強烈に行ってています。しかしその一方で、玉川事業場に「ルネッサンスシティ」という数百億円の大事業を続けており、内部留保は9550億円（従業員一人当たり2300万円）も貯め込み、業績も今年度は巨額のリストラ費用を計上した上で、800億円のもうけ（単独経常利益）を見込んでいます。従って、会社の「経営危機」宣伝は、不況と業績不振を口実にして人減らしリストラを断行するための“地ならし”ではないでしょうか。

N E Cの「経営改革」の一番の問題は、大規模な事業の再編で多数の労働者の異動、出向と15000人もの人減らしを行おうとするものです。既に地方工場や新会社への出向・配転が行われつつあり、パート、派遣労働者、嘱託の人たちの首切りがやられています。

N E C ホームエレでは数百人の希望退職を募集するといわれています。そして多くの職場で、雇用や出向・移籍・配転、労働条件の悪化などに対する不安が広がっています。

私たちは、この大リストラに対し労働組合が組合員をはじめN E Cグループ全体の労働者の雇用と生活、労働条件を守るために大奮闘されることを期待し、以下の項目について申し入れますので、文書にて回答をお願いいたします。（回答希望日：11月17日）

記

1. 不祥事に対する経営幹部の責任追求と再発防止を

防衛庁背任事件は10月26日N E C関係者の有罪が確定しました。またこの裁判の判決の中では「一部には本件に関与しているながら、依然として経営の中核に残っている人物も存在している」とし、N E C 経営幹部の責任の取り方を批判しています。また、贈賄とされた「天下り」や社会的な問題になっている「政治献金」について会社は中止しようとしていません。従って、労組として、会社にこの不祥事の責任追及と再発防止を申し入れを行うことが「経営改革」を行う前にまず必要である考えますが、いかがでしょうか？

2. N E C ホームエレの人減らし防止対策を早急に

N E C労組NWU情報（NO.99-04）で、経営改革やN E C ホームエレの構造改革が「痛みを伴う」ということが繰り返し述べられていますが、「痛みを伴う」とは具体的には何を指しますか？尚、「痛みを伴う」ことを労働者に周知徹底することではなく、「痛みを伴わないようにする」のが労働組合の役目であると考えます。

NECホームエレでは、「再編」から外されている従業員数百人の希望退職を募集すると報道されています。対象者全員をNECグループが引き取る手だてを、労働組合として申し入れるべきと考えますが、いかがでしょうか？

3. 派遣会社の設立と「玉突き」人減らしは容認できない

会社提案によれば 業務請負事業（NECロジスティクス等）：99年12月、人材派遣業（コンサルタント派遣）：00年1月の設立であり、当初人員は519人とされています。

出向対象者からの情報によるとNECからの出向者は、NECロジスティクスをはじめとする関連会社に派遣されます。そして、協力会社の人達は、NECからの派遣会社員に業務を教えた後に（引き継ぎ後）、解雇される事になるだろうとのことです。

労働組合の立場としては、NECグループとしての「業務の内製化」とはいえ、会社の一方的な人減らしを容認することはできないと思いますので、協力会社の従業員の解雇に反対し、継続雇用について、会社の方針を確認してください。

4. 府中事業場関連でもこんなに問題が（合弁会社、新会社設立で）

NECとGEとの合弁会社（日本GEマルケットメディカルシステム）が10月発足しましたが、それにより、NECメディカルの職場では、「2年後は仕事がなくなるから、自分で仕事を探しておくように」と上司からいわれる労働者も出るなど、雇用不安が広がっています。また、防衛事業の集約化により、新会社（NECネットワークセンサ）が設立され、府中の防衛関連の事業部から多くの組合員が新会社に出向や移籍するとの噂が出て不安が広がっています。これらについて、労働者に全容を早く知らせ、職場集会で労働者の意見をよく聞き、労働者の生活と権利を守る行動を至急起こすよう申し入れます。

5. NEC従業員が草むしりをやらされている

また、コン共通本、パーソナル業開本などから数十人が施設管理センターで草むしりなどの仕事をさせられています。その中から「このような仕事をするためにNECに入ったんじゃない！」との怒りの声が出ています。組合としてすぐ処遇改善などの手だてをとっていただきたい。

6. 人減らしは、不況を更に深刻にする -大企業の社会的責任について-

今、NECをはじめ大企業が競い合うように人減らしをすすめています。これにより膨大な下請けなどで一層の人減らしとなり、地域経済にも悪影響を与え、日本の不況が更に長引くことは明らかです。それがひいては会社の業績の悪化となって跳ね返ってくると考えますが、大企業の社会的責任について労働組合はどうお考えなのかお聞かせください。

また府中では残業が平均23時間以上と繁忙であり、どうしてNEC内から労働者を外に出す必要があるのでしょうか？人減らしをせず、むしろ雇用を増やすことが残業を減らすことにもなります。これは労組の方針にも合致するを考えますが、いかがでしょうか？

（申し入れ者）

P・業開本

白石 武夫

産オート・生技

竹本 則生

コン・実技

益田 武廣

